

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つみき第9		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 1月 28日		2025年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動プログラムを実施している	活動を立案する職員(リーダー)を曜日固定ではなく、ローテーションで組むことで、職員それぞれの得意分野を各曜日で発揮していくようにしている。	2便下校の日は短時間での活動となるため、5~10分の活動をより充実していきけるよう活動案をストックしていく。
2	事業所内の活動スペースが広い	遊ぶ場所と食べる場所(作業する場所)をエリアに分けている。	パーティーを助成金で購入したため、お子さんの状況に合わせて活用していく。
3	地域とのつながりがある	浮間地区の協議体に参加し、周辺の施設と連携し、イベントに参加をしている。	より多くの周辺施設と連携を広げて行くことを検討し、活動の充実をはかっていきたい。また、地域生活の充実につなげていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご希望に応じた利用を提供できない	定員を守っての事業運営のため、ご希望通りの日数を利用しただけは難しい状況。	キャンセル待ち利用(お休みの方がいるときにはお声がけさせていただき活動に参加していただく)は行なっている。少ない日数の利用でも満足していただける活動を提供する。
2	情報発信	ご連絡をいただいたときに内容確認、返信に時間を要することがある。 法人の発信する情報量が少ない。	責任者が会議などで不在な際も返信は迅速に行なう。 HPの充実化を法人で検討中。わかりやすい情報発信に努めていく。
3	避難訓練の周知	訓練を行なっているが、周知しきれていない状況にある。年2回の実施としているため、全曜日で実施していないことも要因として考えられる。	全曜日で実施していく。 月の予定表で訓練の予定日を周知し、より把握しやすくする。訓練を実施していることを把握していただき、非常時の備えをしていることへの安心感を持っていただけるよう務める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 つみき第9

公表日 2025年3月19日

利用児童数 24名

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11		1	1	長期休みは職員の数足りてないので は?と思います	ご心配をおかけして申し訳ありませ ん。配置数は適切に行なっています。学 校休業日の時間外のサービスに関して は、最少人数の配置となります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	12	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	12	1				
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	12	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	12	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	12					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会 がありますか。	5	5	2	1	特に必要と感じない	ご意見ありがとうございます。このよ うなご意見も多いので、公園活動での交 流など、できる形で交流をはかってい ます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	12	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	12	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	11	2				
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	12	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12		1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	1		2	保護者会は開催されているが、きょう だい同士の交流、きょうだいへの支援に ついてはわからない	きょうだい同士の交流の場は設けてい ません。つみきコンサートで出会う機会 にはなるかもしれませんが、交流とはな らないと思われます。ニーズがあるのか どうかを調査していきたいです。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2			送迎時(特に帰宅時)の短い時間しかお話しできないので、メールやLINEで気軽に相談できるようになるといいなと思います	お子さんの様子などで気になることがあるときには、ぜひお気軽に連絡をいただけたらうれしいです。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11		1	1	すみません、未確認です	つきき新聞やホームページで発信していますので、ぜひご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	3				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2		2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1				
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			学校の後はつききに行くという流れになっています	流れで通う中でも、「楽しみ」と思っ て来ていただけるよう努力していきたい です。お子さんたちの楽しそうな笑顔が 私たちの励みです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
つみき第9		2025年 3月 19日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		広いスペースを有効活用し、食べるスペースと遊ぶスペースをエリア分けしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		適切な職員配置を行なっています。他事業部との連携も回り、職員が休みの時も対応しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		室内でエリア分けに合わせてマットの色を異なる色とし、視覚でもわかるような環境にしています。	外の階段に手すりが設置できるとより安全性が高められるので、建物管理者への確認も検討します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動後の清掃を丁寧にしています。マットを敷いたプレイスペースなども作り、過ごしやすいよう配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	個室はあります。基本的には利用児は立ち入らない場所として設定し、個別対応などが必要な場合には使用しています。	助成金でパーテーションを購入したので、活用していく予定です。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		部会の設定日時を非常勤職員も参加できる時間に設定するよう心がけています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		アンケートを実施し、部会で改善目標を検討しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		法人内で自己申告書や職員面談で把握し、業務の検討を行なっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		第三者評価を受審しました。評価内容を共有し、必要に応じた業務改善を計画しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人内の研修では様々な内容が実施されています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		配布し、HPに掲載することで適切に公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		本人とご家族の希望を必ず確認したうえで作成しています。学校のアセスメント結果なども参考にしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		個別支援会議を行ない、関わっている職員同士で意見を交わし、個別支援計画書を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		1人ずつの支援目標を共有し、支援にあたっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		太田ステージのアセスメントと日々の観察を重ね、こどもの状況を把握しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		必要な項目を適切に設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		日のリーダーを中心に行なっています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		「今日は〇〇の日」にちなんだ活動を設定するなど、工夫しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		製作活動などは順番に行ない、個別での取り組みにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		打ち合わせで確認を行ない、支援にあっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	振り返りを行ない、共有しています。	非常勤職員は勤務時間の関係で難しいので、次の出勤の際に打ち合わせ時に確認を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録を取り、今後の支援につながるようになっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に1回の計画書の作成、3か月に1回の評価を行ない、見直しを行なっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5		内容を確認し、行なっています。個別支援計画も4つの基本活動に沿っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動や日々のやり取りを通して、選択の機会を作るようになっています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		理解しているものが会議に出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて連携して支援を行なっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校の会議に参加し、確認を行なっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		法人内の児童発達支援とは情報共有ができています。その他は保護者から情報を共有していただいています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	卒後も気軽に連絡を取れたり、顔を出せるような関係性を築き、ご家族やご本人から近況を伺えることがあります。	求められれば情報提供を行なうことは可能ですが、求められたことがありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	法人内の児童発達支援事業部中心に設けられています。	放デイ事業部も機会を設けていけるよう検討していく必要があります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	公園などで交流が生まれることがあります。	求められていない現状もあるため、より確認を行なっていく必要があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	法人で積極的に参加しています。	全職員が法人内のことを把握していけるようになります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		引継ぎや電話・ラインでのやり取り、面談を通して伝え合い、情報共有に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	保護者向け研修会を今後行なっていく予定があります。	多くの保護者の方に参加していただけるよう情報提供していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		新規利用面談の際に説明を行なっています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		作成前に確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		計画書を示し、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談があった際には対応させていただきます。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		年に1回保護者会を開催し、交流の場としています。早めに日程を告知し、より多くの方に参加していただきたいと考えています。	きょうだい同士の交流の機会はありません。つきみコンサートで出会う機会にはなるかもしれませんが、交流の場までは設けていません。ニーズがあるのかどうかを調査していきたいです。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		今年度は苦情のケースはありませんが、苦情に関しては迅速な対応を心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		つきみ新聞やHPで発信しています。	HPIに関して、より良いもの、情報を得やすいものとなるよう検討していく予定です。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		個別に応じた対応を行ない、意思を表現できるよう配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	浮間地区の協議体に参加し、地域との連携やイベントへの参加をしています。	事業所の行事というのは行っていないが、地域と連携し、地域のイベントに参加しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルは策定され、訓練なども実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年に2回の訓練を実施しています。	全曜日実施し、様々な状況に応じた訓練を行なっていきたいです。全保護者の方に訓練を実施していることを把握していただき、緊急時の備えをしていきたいです。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		健康のことに関して確認し、対応しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		医師の指示書が必要なケースまでではないが、保護者の指示に応じて対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		外出時の注意事項や熱中症、感染症など時期に応じた研修を行なっています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	安全を確保しながら日々の活動、支援を行なっています。	ご家族への周知をより強化していけるとよいです。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事業所内及び法人内でも共有し、未然に防げるよう配慮しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待の研修、委員会など徹底して行なっています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束のみではなく、配慮が必要な行為については確認し、了承を得ています。		